

類設計室 東京設計室

共創拠点「Root (ルート)」オープンイベント

『共創シンポジウム』を10月26(土)開催

～社内外の共創を活性化させ、活力ある社会を実現する～

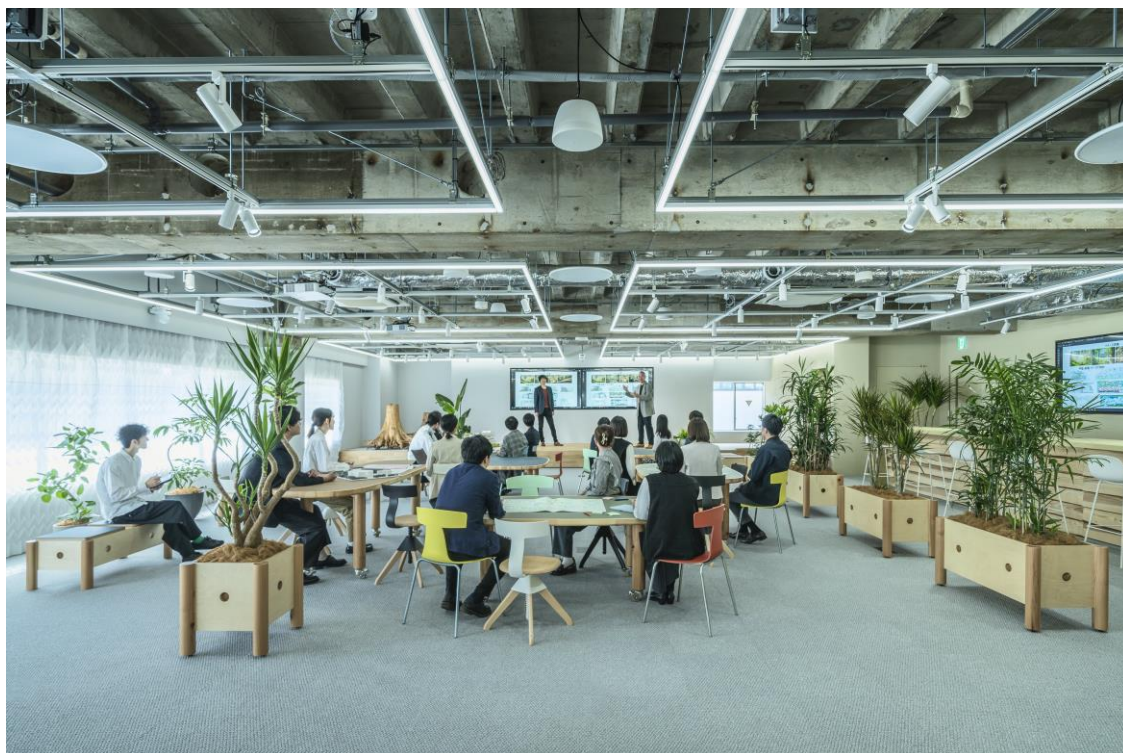
株式会社類設計室（本社：大阪市淀川区、社長：阿部紘）は、東京設計室（大田区）に共創拠点「Root (ルート)」を新たに整備（9月30日（月）開設）。社内外の共創を加速させ、「活力ある社会」「高度な建築実現体」を、みなさまとともに目指していくべく、10月26日（土）に「共創シンポジウム」をRootにて開催いたします。



Root は人材活力、地域活力、産業活力の3つの領域における物事を本源から共創していく場です。共創シンポジウムでは、『教育の現場から考える新たな学びの場』『木の心地よさと光との関係性を紐解く』『地域木材利用を活性化させる木構造の実証実験』の3つのトピックを議論します。

●お問い合わせ 株式会社類設計室 東京設計室（企画部 佐藤）

TEL : 03-5713-1011 E-mail : tokyo-sekkeishitsu@rui.ne.jp <https://www.rui.ne.jp/>



『教育の現場から考える新たな学びの場』

(類設計室 設計事業部×教育事業部×農園事業部)

・全国における不登校児童・生徒数は年々増加している。これからの時代を担う子どもたちの生きる力を育むため、教育の現場で起きていることや課題に向き合い、今後の教育の可能性や新たな学びの場を、教育の現場・設計・塾・農園の多彩な視点で追求していく。

『木の心地よさと光との関係性を紐解く』

(類設計室 × Coming soon…)

・木の心地よさには光の波長・色温度・反射率などから構成される光環境が密接に関係しており、建築空間で木材を積極的に活用するには、その原理解明がカギとなる。光環境の特性と木の心地よさについて原理からアプローチし、その関係性を紐解くことで、木の本質的な魅力を見出していく。

『地域木材利用を活性化する木構造の実証実験』

(類設計室×九州大学 佐藤利昭准教授)

・今、社会では環境に配慮した建築として木造建築、さらには地域の製材を利用する「地産地消型」の建物への注目が高まっている。木造建築の可能性を広げる製材を組み合わせた「重ね梁」の実証実験で、地域木材利用を活性化していく。

●お問い合わせ 株式会社類設計室 東京設計室（企画部 佐藤）

TEL : 03-5713-1011 E-mail : tokyo-sekkeishitsu@rui.ne.jp <https://www.rui.ne.jp/>

〈共創シンポジウムの概要〉

日時：2024年10月26日（土）15：00～18：30（休憩30分・懇親会60分含む）

定員：Root（会場）：40名 / WEB：200名

参加費：無料

場所：類設計室 東京設計室 6F「Root」（JR京浜東北線 蒲田駅から徒歩3分）

申込：<https://forms.gle/HvJ4X8rjBTcxpqC26>

※定員を超えた場合は、抽選とします。

【お問い合わせ】

電話：03-5713-1011（企画部 佐藤）

メール：tokyo-sekkeishitsu@rui.ne.jp

【株式会社類設計室について】

株式会社類設計室は、設計事業部「類設計室」、教育事業部「類塾」「類学舎」「自然学舎・しごと学舎」、農園事業部「類農園」、宅配事業部「類宅配」、管財事業部「類管財」の5業態を展開しています。URL：<https://www.rui.ne.jp/>